

『津田梅子』 大庭みな子

津田梅子といえば「明治の時代、わずか7歳にして日本初の女子留学生として米国で学び、後に津田塾大学を創立したスーパーウーマン」として有名でしょう。凡人には決して真似できないほど心身共に強靱で情熱的な女性であることは事実ですが、この本から分かるのは梅子の意外な素顔やチャーミングなエピソード、苦悩、献身的な姿です。

私自身、瀬戸町のはずれの僻地に生まれ育ち、常に遠距離通学を余儀なくされたおかげで体力と根性だけは人の3倍。ご縁あって津田塾で英語を学びましたが、当時は思い出すだけでもお恥ずかしいくらい不真面目な学生でした。英語を学びたくて進学したはずなのに、学生時代の大半を人生勉強に費やし英語も教育論もそっちのけ。「梅子先生、ごめんなさい」何度心の中でつぶやいたことか。それが卒業後不思議なくらい英語に目覚め、若いころからの夢だった英語のスクールを設立して12年になります。人生、いつ転機を迎えるか分からないものですね。

決して立派な学生ではなかった私を今でも支えてくれているのは「バランス感覚」。著書中に多数紹介されている梅子が綴った手紙からそれが良く伝わってきます。女性が夢を実現させるには確かに困難がつきまとうもの。でも女性だけが肩肘張って必死でガンバっても世の中は変わらない。パートナーや仲間を大切にしながら自分の役割や責任感を忘れない限り、夢の実現を応援してくれる人たちが必ず現われますよ。

これから自分なりの夢を見つけて、それを達成していきたいという中学生の皆さんへ、この本とともに心からエールを送りたいと思います。

〈女性の可能性は無限大。 しなやかに、そして自然体で！〉